

Rotary International District 2570

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



地区研修委員
野口 健吉
(東松山むさし)

地区研修委員長
西川 武重郎
(志木)

地区研修委員
大澤 衛
(朝霞キャロット)

● RLIの研修は、お任せ下さい

地区研修委員
田中 八束
(狭山中央)

地区研修委員
茂木 正
(本庄)

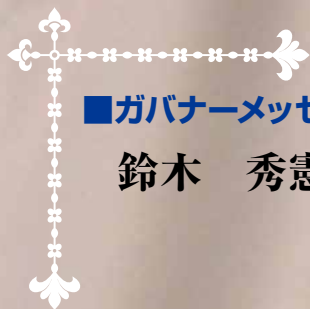
地区研修委員
古屋 一生
(熊谷西)

地区研修委員
(RLI 担当)
浅田 進
(本庄南)

1st May, 2013 Vol.11

国際ロータリー第2570地区 2012～2013年度
ガバナー月信 2013年5月1日 第11号





■ガバナーメッセージ

鈴木 秀憲

ロータリーの 「公益性」について考える



平成20年12月に公益法人制度改革3法が施行され、従来からの社団法人や財団法人は、それぞれ一般法人か公益法人かの選択を迫られました。元々、社団法人も財団法人も公益性のある事業を行う団体として認められ、それなりの優遇措置が取られてきましたが、近年それらの団体運営で不正などが発覚した結果の措置であると考えられます。

一般法人に比べ公益法人は制約が多く（最大の制約は、公益事業比率が50%以上であること）、その分、特に税制で優遇されます。

この事を受けて皆様が（或いは理事長であったり、或いは役員であったり）関係している団体でも、その選択に苦慮されたことと存じます。

私が理事長を務める二つの団体が、公益社団法人になりました。

一つは、団体の運営費に毎年国や市から多額の補助金をいただいているので、当然公益法人でなければなりません。必要な事務手続きを経て昨年4月から公益社団法人になりました。

もう一つの団体は、100%我々の会費で運営していますから、会員の利益を優先させ公益性を優先させる必要はありません。我々は当初、我々の為の団体であるから、一般社団法人で良いと考えました。しかし、1年間以上かけて会員と議論しているうちに、最終的には、公益社団法人を目指す事にしました。その理由は、納税で有利であるからという事ではなく、我々が心血を注いで活動するなら、社会のためになる事をしようではないかと考えたからです。公益事業比率50%以上という事は、今までの考えの延長線での達成は難しかったのですが、更に1年間以上かけて会員と議論し、隘路を一つずつ整理し問題を解決しました。おかげさまで本年4月から、公益社団法人で運営する事が出来るようになりました。因みに、この団体へは、それぞれの地域で多くのロータリアンも役員として或いは会員としてご活躍頂いています。

ところで、ロータリーの公益性について疑う方は誰一人としていないでしょう。これだけ「世

間のために」を考えて運営している団体は、他にはないと言えます。

勿論、ロータリーは法人ではありませんので、公益法人の資格を取る必要はありません。

しかし、折角の機会ですから、公益法人の運営基準である「公益事業比率50%以上」を当てはめて考える事も良いと思います。

その前に、「公益」について考えてみましょう。「公益」とは、私益・利益=利己のためではなく、「利他」のために行う事とされています。正にロータリーの奉仕活動そのものと言えます。

本質的には、その活動が「求められているか」と、受益の機会が「開かれているか……誰でも享受出来るか」という2点がポイントだそうです。長期入院している知り合いの少年のための読み聞かせや、あなたの家の近くの河川の保全是特定かつ少数のためですが、それでも公益性を認められるのは、その活動が求められ、開かれている（誰でも享受出来る）からです。公益の本質は、自分のため（私益）・自分達のため（共益）ではなく、その活動を必要としている人や事柄（自然や文化・歴史など）のために行う事です。

自分や自分達がしたい事（ウォンツ）ではなく、求められている事（ニーズ）に基づいて行うからこそ、共感する人が集まり、労力や資金などを提供して協力する人達の輪が広がるのです。つまり、その目的が「自分達のウォンツ」を満たす事でなく、「社会のニーズ」を満たす事が、公益であると言えます。この言葉はロータリーの「奉仕」に相通じると考えます。

以上を踏まえた上で、時には我々が行う事（事業）の中で、「公益事業は何と何、非公益事業は何と何」という事をチェックし、支出金額で公益事業比率を確認してみる事があっても良いのではないかと考えます。事業でない運営費用については、上記の「公益と非公益」の比率で按分すれば良い（という事は、運営費用の事は計算外で事業費のみを計算する）と考えます。

一度試してみるのはいかがでしょうか？

■第2回社会奉仕部門セミナー

祭り文化で地域の活性化を

社会奉仕部門委員長 木藤 文雄（坂戸）



平成25年3月16日（土）、さきたま史跡の博物館で第2回社会奉仕部門セミナーを開催しました。当日の受付でクラブ支援事業の一環として「八重紅しだれ桜」の苗木5本を各クラブに配布。その後、ボランティアガイドの案内でさきたま古墳群の見学会が行われ、博物館では国宝の金錯銘鉄剣や出土品の数々を鑑賞。

セミナーに先立ち同博物館の学芸員より、さきたま古墳群の成り立ちと魅力、そして国宝の説明がありました。続くセミナーでは、アイバンク委員会により角膜移植を受けられた2人の体験発表が行われました。

今年度はさきたま古墳群のみでなく川越祭り、秩父夜祭りも研究。祭り文化で地域の活性化につながるヒントを得て活動の原動力にします。また東日本大震災の悲劇を風化させず、被災孤児の継続的支援をしてほしいと思います。

今年も「社会奉仕報活動告」を提出下さい。書式を改めて各クラブにメール致します。

●アイバンク事業について

アイバンク担当副委員長 花家 孝之（日高）

献眼運動を2006年以来活動してきました。年度別献眼・移植状況と地区内クラブの献眼登録者数の説明が行われました。登録者0の8クラブはアイバンク事業の重要性を理解して頂き、是非登録をお願いします。



●角膜移植者体験談

アイバンク担当委員 春山 茂之（本庄）

アイバンク事業を理解してもらうため角膜移植を受け、視力を回復された2人の体験発表が行われました。視力を失い辛い体験と移植により視力を取り戻した喜びを語られ、アイバンク活動のすばらしさを唱えました。体験発表されたY・Hさん(56歳)は幼少期より角膜炎を繰り返し、4年前の初診時に視力0.2と0.06でしたが、移植後右0.9で運転免許取得。また、高橋寿美雄さん(80歳)は幼少期より極度に視力が弱く、平成22年に手術をした結果、視力は1.0に回復。今は趣味の三味線に没頭しておられます。



視力を取り戻した喜びを語る高橋寿美雄さん



配布された苗木をさきたま古墳公園に植樹。左から、さきたま史跡の博物館・志村部長、島崎行田さくらRC会長、鈴木ガバナ

● 八重紅しだれ桜の苗木の配布

クラブ支援委員長 小久保 富夫(新狭山)

地区クラブ支援として各クラブへさくらの苗木5本を支援。公共性の高い場所に植樹することが望まれます。

新狭山RCでは、東日本震災復興祈願として福島・宮城・岩手県に50本ずつ寄贈し、地元クラブと植樹しました。翌日に起きた地震で被災された長野県栄村にも寄贈し植樹しました。被災地が喜び元気になるように、この事業を行いました。委員会では各クラブで地域の人達と植樹することでコミュニケーションを図り、ロータリーの認知度向上と社会奉仕事業が活発になるよう苗木を配布しました。

● 地区事業委員会全体説明

地区事業委員長 新井 啓介(行田さくら)

さきたま古墳群の世界遺産登録推進事業を理解して頂くため行田の地でセミナーを行い、古墳群の一角に桜の苗木を植樹しました。ブライダル事業と共に第2770地区と協力した結果、2委員会とも効果が上がりました。双方の事業に対し理解とご協力を願います。



丸墓山古墳に登るセミナー参加者

● 世界遺産登録推進事業について

世界遺産担当副委員長 小菅 克祥(行田)

登録推進事業を推し進めるためDVDとパンフレットを製作しました。今後、これらの資料を利用し推進活動を進めますのでご協力下さい。

● ブライダル事業について

ブライダル担当副委員長 醍醐 治江(志木柳瀬川)

昨年12月、第2770地区で「合同ブライダルパーティー」を開催し、4月13日は志木ベルセゾンで開催します。県下全域で行うことで、より成果が上がって参りました。お互いの身元保証がされているので安心したパーティです。ロータリアンのご子息、推薦できる人達を登録してください。相談会は毎月1回オルモ(坂戸市)で行っております。

● ロータリー希望の風奨学金について

地区研修リーダー 西川 武重郎(志木)

東日本大震災から二年が経ちました。「ママ、生きてるといいね。お元気ですか?」ここまで書いて疲れたのか、すやすやと寝入った昆 愛海ちゃんの写真が新聞に掲載されたのを見て涙を流してから「被災孤児に手を」と活動をしてきました。37名で始めた奨学生も100名まで増えました。愛海ちゃんが大学を卒業するまで活動を続ける思いですのでご協力下さい。

基金額	開始時	累計
全国	429,623,551円	518,531,794円
地区	17,651,920円	22,566,138円

12クラブの活動内容を発表

第3グループ IM 実行委員長 **水村 雅啓** (入間)

第3グループのIMは、3月9日(土)入間市産業文化センターにて、田中龍夫入間市長をはじめ、鈴木秀憲ガバナー、西川武重郎研修リーダー・パストガバナー、梅沢定彦パストガバナー、石川嘉彦パストガバナーのご来賓を迎え盛大に開催されました。

IMの開催意義は、近隣クラブが一同に会し、ロータリーに関する学習と情報交換を通しロータリアンとしての研鑽を積み、同時に親睦を深めることが目的です。今年度、鈴木ガバナーはロータリーが動くことでよい風が吹く、信ずるところに向かって活動しましょう……「いい風ふくよ!!」と提唱してきました。私たちも、活動を通して「風」を吹かそう、そのためには、今行なっている活動をもう一度見つめ直して、新たな活動の芽を作ろうと考えてきました。

IM開催に当たり、実行委員会では、そうした新しい活動の推進のために何をすべきかと試行錯誤しました。その結果、それぞれのクラブが今後の奉仕活動の幅を広げるためには、他クラブの活動実績を知って、刺激を受けることが必要だと考え、協議会で12クラブの活動内容を発表してもらうことにしました。

内容は、平岡達也ガバナー補佐の方針のもと、「国際奉仕及び新世代奉仕部門の各クラブの取り組み」をテーマに致しました。各クラブ10分間の持ち時間で、パワーポイントを使ったり、映像を流したりと工夫を凝らし、それぞれの取り組みを発表しました。

今回、このプレゼンテーションを開催するに当たり、各クラブの会長とプレゼン担当者には3回の準備会に参加していただき、開催意義の確認、各クラブのテーマの選択、発表者の決定、パソコンデータの作成、そしてリハーサルと、半年近くに亘り真剣に取り組んで頂きました。当日も午前中からリハーサルを行うなど、質の高い内容となりました。

国際奉仕関係では、姉妹クラブに関わる活動発表や世界社会奉仕活動の事例の発表がありました。姉妹クラブとの交流の歴史は、それぞれのクラブの個性が



田中龍夫入間市長

あってとても興味深いものでしたが、互いを尊重し、敬愛しながら世界平和を目指しているところは共通でありました。まだ姉妹クラブを持っていないクラブにとって参考になると共に、大きな刺激となりました。

新世代に関する発表では、青少年交換学生や財団奨学生、米山奨学生に関わる活動が多く取り上げられました。いずれも新世代の若者たちが知識の向上と同時に国際交流、国際親善を通して世界との懸け橋となるプログラムです。会員だけでなく学生や奨学生たちのプレゼンテーションもあり、その発表は、会場の多くの方に感動を与えました。また、昨年ロータリーに入会した新会員のプレゼンは、自身が35年前に青少年交換でオーストラリアに行った交換学生であったという話で、ロータリーの長い歴史と人生の巡り合わせを感じさせるものでした。交換学生や奨学生、インターアクトクラブ、地域の青少年の活躍は、正にロータリー



参加者全員で「花は咲く」を熱唱



平岡達也ガバナー補佐



鈴木秀憲ガバナー



吉永章子入間 RC 会長

クラブに可能性と活力を与えてくれます。取り組み方は違っても、今後も大いに支援と協力を続けていきたいと思いました。

また、西川武重郎パストガバナーが提唱する「ロータリー希望の風」を支援するプレゼンでは、地域イベントで得た資金で青少年を支援していくという、行動力を発揮した活動に大きな感銘を受けました。東日本大震災により被災遺児となった青少年たちに、少しでも学業を継続できるよう教育支援をしていきたいという願いを皆で届けたいとの思いが伝わってきました。

2時間に及ぶプレゼンテーションでしたが、それぞれ個性ある、素晴らしい活動内容でした。近隣クラブでありながら、普段どんな活動を行っているのか、あまり認識できていなかった12クラブの活動の一端を知るよい機会になりました。

懇親会では、多くの会員が親睦を深め、友情の輪を広げました。会場では、パークッションのミニコンサートの他、入間RCの会員ギタリスト(?) 2名の伴奏で震災復興ソング「花は咲く」を全員で熱唱しました。胸が熱くなったひと時でした。

入間RCの会員はもちろん、12クラブの多くの方々の協力に支えられ、無事に大役を果たすことができました。この成果が明日のロータリーを作る原動力になれば幸いです。ポール P. ハリスが残した「すべては学びから始まり」という言葉どおり、参加者全員で学習しながら、交流を深めるという意義のある時間を皆さんと共有することができ、お陰さまで、「いい風」が入間の地に大きく吹きました！

終わりに、各クラブがますます発展され、合わせて会員の皆様のご健康をご祈念申し上げてIMの報告と致します。

坂本元彦さん(富士見RC)訪問記

国際ロータリー第2570地区ガバナーノミニーになりました坂本元彦さんを休診日に自宅まで訪ね、インタビューさせていただきました。

—ガバナーノミニーを引き受け、今思うことは？

ロータリーの先輩から『『忙しい』を言い訳としてはいけない』とアドバイス頂いたことがあります。医師仲間の助けも借りながら、何とか仕事と両立し、「忙しい」を理由におろそかにすることのないようがんばります。

—継承したい2570地区の長所は？

和気あいあいとしてまとまりがあるところ。フレンドリーで親睦が盛んだと思います。それとロータリアンとしての自覚をしっかりと持っている人が多いと思います。

—短所というか課題は？

私自身も含め、ロータリアンとしての自己満足をせず、ロータリーへの理解を更に深め、地域社会や国際的な奉仕に一步踏み出すことが求められていると思います。そのためにもRLI研修の時のように、地区やクラブ、グループの中で結果を恐れずに発表し互いの意見を尊重し自分の意識を高めそして行動する事が大切でしょう。そうすれば現状から一步踏み出せるのではないかと思います。RLI方式の充実を図ればと思います。

—地区とクラブとの関係は？

ロータリーを学ぶことをクラブの行動の一つの形にしていく中で、クラブの課題とRIの課題が一致していくのが良いと思います。ともすると都合のいい時だけクラブの独自性に逃げてしまうこともあるようです。

私も富士見RC会長、一年置いてガバナー補佐、続けて地区新世代部門委員長そしてガバナーノミニーを引き受けることとなりましたが、その経験を十分に生かしきれているとは言えません。あらためてロータリーのことを学び、学びの行動の中で気づいたことがRIの考えと一致し、自分の言葉として伝えられたらと思います。



—坂本ノミニーのプロフィールは？

兵庫県出身です。順天堂大学医学部を昭和47年に卒業しました。10年経験を積んだら、開業しようと決めていて、志木の病院でバイト診療をしている時に知り合った不動産屋さんから「みずほ台駅」近くを紹介され、坂本整形外科を昭和57年に開業しました。

開業医以外に厚生労働省東京労働基準局の地方労災委員を30年程やっています、

富士見RCには1992年に入会しました。そして医療関係者以外の他業種の多くの方々と知り合いになれ人間の幅が少しは広がったと思います。

—趣味は？

車ですね。エンジン音を聞くのと思い通りに動いてくれるところが好きです。

—愛読書は？

歴史小説が好きです。特に戦国時代物。三国志も好きです。何か迷いが出た時は参考にもなります。

ご家族は勤務医時代に知り合った夫人と三人のお子様。そして愛犬の新(しん)君です。上のお二人は医師で、後を継いでもらう事を楽しみにされているようです。

お休みの日にお邪魔し、色々お話を聞かせて頂きありがとうございました。

インタビュアー：副幹事 橋本 恭一

■第24回ローターアクト年次大会

協働「人を育てる、自分を育てる」

アクト委員長 武藤 典夫 (志木)



去る3月10日(日)富士見市民会館「キラリ☆ふじみ」に於いて鈴木ガバナーはじめ多くのロータリー他関係者にご出席頂き、淑徳大ローターアクト代表及び実行委員会主催による年次大会が盛会に開催されました。

開催プログラムは大きく分けて開会セレモニー、基調講演、職業フォーラム、閉会セレモニー、懇親会の五つのプログラム構成で行われ、その大会テーマは「協働——人を育てる、自分を育てる」を掲げて行われました。

メインプログラム「職業フォーラム」は異業種別テーブルでロータリアンと共に就活、就職のアドバイスや社会、職業人としての大切な事を学び語り合う内容でアクターの皆さんに大変有意義な大会内容だったと思います。ロータリーの新世代奉仕プログラムは12歳

から30歳迄の青少年に、様々な奉仕活動を通じ思いやり、尽くす、といった人間として大切な事を学んで頂こうとする育成奉仕プログラムです。ローターアクトは、18歳から30歳の学生及び社会青少年が対象年齢になりますので、職業をテーマに取り入れた事は最善の着眼点で、間もなく職業社会へ巣立つアクターの皆さんには大変役に立った一日と思います。又、各テーブルの真ん中に貼り付けた「切り拓こう私達の未来」のテーマを囲み販売小売、教育、福祉、不動産、会計経理の五部門で企業選択、社会人心得や責任感等を話し合う様子を眼にし私達の次の奉仕パートナーとして夢と期待を載せて報告出来る事を幸せに感じております。他にも鈴木ガバナーのお話し、RC担当幹部方々のご助言、講演「人と関わる仕事の意味」等からの役に立つお話しが大会を盛り上げました。

ローターアクトに今後も大きな期待を寄せる所ですが、地区内2大学、提唱2RCと、やや少数の奉仕活動現状に、その推進向上のための課題克服や増強等、私達としても一層の支援努力をしていく役割と責任も感じさせられました。

この事を含め今後共ご理解ご支援をお願い致します。

100周年に向け、未来志向で

熊谷ロータリークラブ会長 藤間 憲一

熊谷ロータリークラブは1953年(昭和28年)10月9日に川越ロータリークラブ会長伊藤長三郎氏、特別代表の山崎嘉七氏、さらに東京クラブから柏原孫左衛門氏をはじめ多くの皆様に御指導頂き、初代会長の八木橋本次郎氏を中心に25名の会員により創立されました。

本年3月23日(土)、富岡清熊谷市長、鈴木秀憲ガバナーをはじめ、当クラブが提唱しました10クラブ、第5グループの会長、幹事の皆様に御臨席を賜り、創立60周年記念式典が盛大に開催されました。

第一部記念式典は、厳粛なセレモニーの後、60周年記念事業、1.熊谷駅に二代目となる最新のシンボル時計、2.「COOL SHARE KUMAGAYA」のうちわ製作、打ち水、クールシェアスポットを映像で紹介し、ご協力を頂いた熊谷駅長、大里建築士会様へ目録(シンボル時計・緑の風吹くまちづくり事業協賛金)を贈呈しました。

第二部記念講演では明治天皇の玄孫にあたられ、作



家で慶応義塾大学講師の竹田恒泰先生をお迎えし「日本はなぜ世界で一番人気があるのか」～日本の誇り 熊谷の誇り～と題し、弱冠38歳の先生の語りに出席者全員熱い感動を受けました。

第三部祝賀会は「外山喜雄とデキシシーセインツ」のジャズ演奏に盛り上がり、「聖者の行進」の演奏では出席者が歌い傘を持ち行進、和やかな雰囲気の中フィナーレを迎えることが出来ました。

60周年の輝かしい歴史と伝統を築いてこられた先輩諸兄に改めて感謝し、94名の会員が60周年(還暦)を節目に新たなスタートと位置づけ、100周年に向け未来志向でクラブの更なる発展を目指していきます。



↑竹田恒泰氏



人生は、誰と出会ったかによる

米山記念奨学部門委員長 井上 豊 (秩父)



2月24日、50名の参加を頂き、東松山「紫雲閣」において米山部門「終了式並びに歓送会」を行いました。

米山記念奨学部門長から、世話クラブ、カウンセラーに対しての労いの言葉、奨学生には「人生は誰と出会ったかによって決まる」の話をし、高橋福八諮問委員、金子千侍米山記念奨学会理事からはお祝いの言葉を頂戴し、奨学生には「終了証」を、カウンセラーには「感謝状」が手渡されました。

その後、歓送会に移り、奨学生やカウンセラーから思い出話や感謝の言葉で楽しいうちに閉会しました。

多くの世話クラブ、カウンセラーの皆さんに心からお礼申し上げ、引き続き米山記念奨学事業にご協力を賜りますようお願い申し上げます。



国際ロータリー
第2570地区
2013～2014年度
米山記念奨学生



川越 小美
中国・東京国際大学



朴 昭恩
韓国・東京国際大学



崔 麗梅
中国・東京国際大学



単 体香
中国・十文学学園大学



任 菊熙
韓国・大東文化大学



曾 葦佳
台湾・尚美学園大学



朴 嘉蘭
インド・東洋大学



李 彰美
韓国・立教大学



スーパートル,
ジャヴフアント
インド・西武文理大学



陳 希
中国・早稲田大学



マイ・ツン・リン
ベトナム・駿河台大学



李 婷婷
中国・城西大学



邱 恩平
台湾・東京国際大学



金 強重
韓国・西武文理大学



リュウ・ショウ・リン
中国・埼玉工業大学



裴 濤
中国・早稲田大学



グ・チャン・チェン
ベトナム・埼玉大学



金 兌煥
韓国・埼玉工業大学

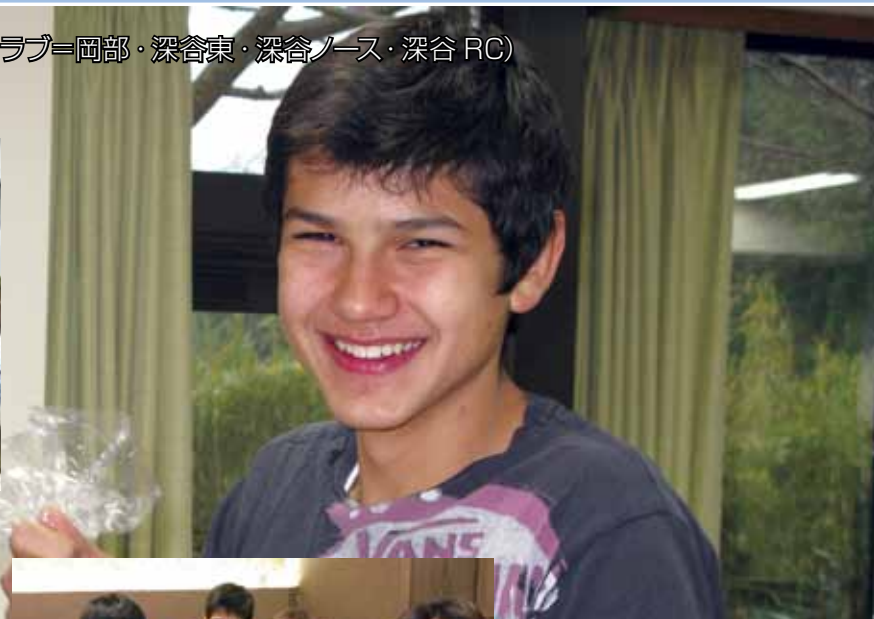


ファン・ボ・ラ
韓国・埼玉大学

青少年交換学生紹介(4) Almeida Navarro Diego Alejandro

メキシコ **ディエゴさん** (ホストクラブ=岡部・深谷東・深谷ノース・深谷RC)

日本の文化 猛勉強中



こんにちは。私の名前はディエゴです。昨年の8月、メキシコから日本へ語学勉強で来ました。

希望と期待、不安の中で日本のホストファミリーとの生活が始まりました。

最初のホストファミリーは鏡ホストファミリー。日本語が上手に話せない私は戸惑い、数多くの問題を抱えたままでしたが2週間の滞在で、次のホストファミリーへ引っ越ししました。

2番目は竹田ホストファミリー。バーベキューやメキシコの料理を一緒に作りました。

3ヶ月滞在の間、日本語の難しさを教えてもらい日本語を話す手助けを一生懸命してくれました。とても感謝しています。

3番目は井上ホストファミリー。ディズニーランド、スキー、初詣へ連れてってもらいました。



日本語で会話する事に慣れ、意味もだいぶわかるようになり、新しい多くの事を学ぶ事ができました。

4番目は内田ホストファミリー。井上家族と内田家族は交流があり、

数多く会っていたのですぐに生活に慣れました。初体験の豆まきや、厄除けをしました。

数の数え方や日本の歴史も学び更に新しい多くの事を教えてもらいました。

最近ではロータリークラブの例会に行くと、「日本語が上手になったね」と言われるのが嬉しいです。

学校では友達もたくさん出来ました。学校ではいろいろな事を勉強します。

茶道は初めての経験でお茶をたてました。正座が疲れました。

学校が休みの時は日本に来た他の留学生といろいろなところへ遊びに行きます。

何より私は写真を撮るのが好きです。

メキシコとは違う日本の素晴らしいところをたくさん撮りました。

メキシコに帰ったら、家族と友達に見せたいです。

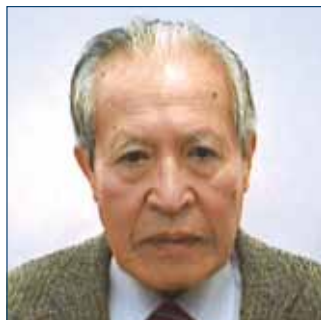
この6か月、多くの人に助けられ、家族、友人の大切さを実感しました。だから私は交換留学生として、残された時間、もっと日本語を話せるようになり意味を理解し、多くの新しい事に参加し、さまざまな事で成長し良い人間になりたいです。





財 団 表 彰

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー



中島 毅 (入間南)



萩野 静次 (入間南)

ポール・ハリス・フェロー



石川 伸一 (入間南)



新野 晴之 (入間南)



鈴木 豊士 (入間南)



田中 京子 (狭山中央)



友山 信之 (入間南)



西澤 正夫 (入間南)



米 山 功 労 者



メジャードナー 24回
寶積 克彦 (狭山中央)



メジャードナー 10回
小澤 泰衛 (狭山中央)



5回
柴田 譲 (狭山中央)



2回
若松 泰誼 (狭山中央)



2回
伊田 登喜三郎 (東松山)



1回
中谷 和美 (狭山中央)

新入会員のご紹介

(越生毛呂RC)



鈴木 俊雄
(株)鈴乃家
代表取締役

(紹介者) 波田 二三雄

(深谷東RC)



木村 伸雄
(有)ネクストホーム
代表取締役

(紹介者) 平井 久也

(深谷東RC)



北村 信一
北村鉄工(株)
代表取締役

(紹介者) 木暮 亨

(深谷東RC)



福地 康生
(有)福地工務店
代表取締役

(紹介者) 山口 征紀

(入間RC)



馬路 宏樹
宗教法人 曹洞宗 長徳寺
住職

(紹介者) 細淵 克則

(坂戸RC)



菅野 雄介
(医)社団敬悠会 菅野病院
理事長・院長

(紹介者) 関根 迪弐

(秩父RC)



飯塚 元久
第一生命保険株式会社
秩父オフィス長

(紹介者) 岸岡 正浩

編集部から

お詫びと訂正:

第10号P14 米山功労者の
メジャードナーの欄で 葭田秀
夫会員(秩父RC)の名前が間
違っていました。謹んでお詫び
を申し上げ、訂正させていただきます。



ロータリアンの皆さま

ロータリーの国際大会は、非常に大きな力を持っています。私にとって初めての国際大会は、1980年のシカゴ大会でした。世界中からロータリアンが集まり、協力して多くを成し遂げている様子は、とても素晴らしい思い出として、今でも私の心に残っています。

初めての国際大会には、ロータリー・クラブの一員として出席しましたが、このとき初めて、真のロータリアンになったと実感しました。シカゴでの感動は、現在も私の心に残っています。毎年、ロータリー世界のさまざまな場所で開かれる国際大会に出席し、素晴らしい経験をさせていただいています。

2013年の6月23日から26日まで、ポルトガルのリスボンにて、第104回国際大会が開催されます。開催地がポルトガルであるということ、私は日本人のRI会長として、とても嬉しく感じております。と申しますのも、ポルトガルと日本には、1542年以降の友好の歴史があるからです。その年、ポルトガルの船が、日本の種子島にやって来ましたが、航海士たちは日本に来るつもりはなかったのですが、強風のため航路を逸れてしまったのです。しかし、幸いなめぐり合わせと申しようか、ここから平和的で豊かな関係が始まったのです。

ポルトガル人が日本を発見したのは偶然ですが、リスボンが国際大会の開催地となったのは偶然ではありません。リスボンは「平和の港」です。そして「平和」は、500年に及ぶ日本とポルトガルの交流のテーマとなってきたように、この国際大会のテーマとなります。

毎年、ロータリー国際大会に集まる数日間には私たちが目にすることは、まさに世界の理想郷です。さまざまな皮膚の色や文化を持つ人々が集い、より良い世界を築くために協力するのです。

2013年、ロータリーを通じて、「平和の港」リスボンに集いましょう。この国際大会の議長を務めさせていただきますことを、大変光栄に感じております。会場にて皆さまにお会いできますことを、心より楽しみにしております。

田中 伸次

田中伸次
2012-13年度RI会長

On To LISBON
国際大会

5・6月のスケジュール

5月

12 日	東松山 RC	50 周年記念式典
16 木	本庄 RC	50 周年記念例会 (埼玉グランドホテル本庄)
17 金	世界平和フォーラム	広島
18 土	世界平和フォーラム	広島
20 月	R 財団奨学生知事表敬訪問	
25 土	狭山中央 RC	創立20周年記念パーティー (川越プリンス)

6月

23 日	国際大会 (リスボン)	ガバナーズナイト
24 月	ク	
25 火	ク	
26 水	ク	

訃報



国安 隆之 様 (新座こぶし RC)

2013年3月6日、ご逝去されました。
謹んで哀悼の意を表し、心からご冥福を
お祈り申し上げます。 享年74歳

ロータリー歴：
1996年9月入会 (在籍16年)
地区職業奉仕委員、クラブ会長等

編集部から

ロータリー川柳

東北へ 絆深める メイキヤップ 大野 快三 (入間南)	目標は 白寿を超える ロータリアン 小澤 誠邦 (行田さくら)	米山の 子らに教わる 世界地図 大河内 隆敵 (入間南)	例会日 妻に買い物 頼まれる 大野 快三 (入間南)	酒肴 手土産にする 出川 敏雄 (入間南)	今日も又 学ぶことあり 例会日 小澤 誠邦 (行田さくら)
---	---	--	--	--------------------------------	---

3月の出席率・会員数報告

	クラブ名	例 会 数	出席率 (%)		会員数 (人)									
			当 月	通 算	年初 (7 ↓)	3月 末 現在	3月 入 会 数	3月 退 会 者	本年度 入 会 数	本年度 退 会 者	3月 度 純 増 数	本年度 純 増 数	女性 会 員	
第 一 グ ル ー プ (11 RC)	川越	4	83.4	81.4	86	87	0	0	4	3	0	1	0	
	東松山	4	69.8	77.6	33	33	0	0	1	1	0	0	1	
	小川	3	66.7	70.8	12	11	0	0	0	1	0	-1	1	
	坂戸	5	88.8	90.1	25	27	1	0	3	1	1	2	0	
	越生毛呂	4	65.7	78.3	26	27	0	0	1	0	0	1	3	
	川越小江戸	5	98.2	93.1	14	14	0	0	0	0	0	0	0	
	川越西	3	84.6	84.8	15	13	0	1	0	2	-1	-2	0	
	鶴ヶ島	3	89.0	84.6	26	27	0	0	2	1	0	1	2	
	川越中央	4	89.1	87.8	31	34	0	0	3	0	0	3	0	
	坂戸さつき	3	67.0	70.1	20	20	0	0	0	0	0	0	4	
	東松山むさし	3	91.0	87.3	36	37	0	0	1	0	0	1	4	
	小 計		81.2	82.4	324	330	1	1	15	9	0	6	15	

朝霞	3	90.9	92.1	33	33	0	0	0	0	0	0	0
志木	3	91.4	93.5	49	51	0	0	4	2	0	2	0
富士見	4	93.0	89.6	49	49	0	0	1	1	0	0	0
新座	4	82.7	88.7	26	26	0	0	0	0	0	0	2
和光	5	94.9	87.2	20	18	0	0	0	2	0	-2	2
朝霞キャロット	4	96.2	93.3	13	13	0	0	1	1	0	0	0
志木柳瀬川	4	92.3	92.1	12	13	0	0	1	0	0	1	4
新座こぶし	4	78.6	83.2	15	13	0	1	0	2	-1	-2	2
小計		90.0	90.0	217	216	0	1	7	8	-1	-1	10

入間	4	88.5	84.0	39	39	0	0	2	2	0	0	1
所沢	4	94.4	86.8	59	57	0	3	3	5	-3	-2	3
飯能	3	95.1	91.5	54	54	0	0	0	0	0	0	0
狭山	4	100.0	100.0	17	17	0	0	0	0	0	0	0
新所沢	4	88.8	85.0	19	19	0	0	0	0	0	0	1
日高	4	81.6	80.0	25	25	0	0	1	1	0	0	3
所沢西	4	89.0	86.9	38	41	0	0	3	0	0	3	1
新狭山	4	90.0	89.6	23	24	0	0	1	0	0	1	0
所沢東	4	89.3	85.7	37	38	0	0	2	1	0	1	3
入間南	3	95.2	95.7	39	39	0	0	1	1	0	0	0
所沢中央	4	96.4	94.9	37	38	0	0	2	1	0	1	0
狭山中央	4	90.8	88.8	29	30	0	0	1	0	0	1	4
小計		91.6	89.1	416	421	0	3	16	11	-3	5	16

深谷	3	84.6	82.9	57	58	0	1	2	1	-1	1	9
本庄	3	77.6	80.7	73	73	0	0	0	0	0	0	7
秩父	4	81.9	83.2	50	50	1	2	2	-1	0	0	0
寄居	3	84.6	79.8	38	39	0	0	2	1	0	1	0
児玉	4	41.7	59.7	9	12	0	0	3	0	0	3	0
岡部	3	86.0	84.2	18	18	0	0	0	0	0	0	2
深谷東	4	69.3	70.8	71	77	0	0	6	0	0	6	0
川本	4	80.0	87.3	11	11	0	0	0	0	0	0	0
皆野・長瀬	4	87.5	87.9	12	13	0	0	1	0	0	1	1
本庄南	5	78.9	86.0	20	20	0	0	0	0	0	0	0
深谷ノース	3	83.8	81.0	33	35	0	0	3	1	0	2	0
小計		77.8	80.3	392	406	1	3	19	5	-2	14	19

熊谷	4	73.2	78.0	89	92	0	1	4	1	-1	3	3
行田	4	78.6	75.8	55	55	0	0	1	1	0	0	4
羽生	4	78.6	79.5	42	41	0	1	2	3	-1	-1	4
加須	3	76.2	82.1	37	35	0	0	0	2	0	-2	1
熊谷西	3	67.6	69.1	13	12	0	0	0	1	0	-1	0
行田さくら	4	78.6	77.5	42	44	0	0	2	0	0	2	0
熊谷東	3	92.7	92.1	31	32	0	0	2	1	0	1	2
吹上	4	91.6	92.9	12	12	0	0	0	0	0	0	0
熊谷籠原	3	88.9	90.9	27	27	0	0	0	0	0	0	0
熊谷南	3	50.0	58.0	25	26	0	0	1	0	0	1	1
小計		77.6	79.6	373	376	0	2	12	9	-2	3	15

52 RC	クラブ会員数	83.5	84.1	1722	1749	2	10	69	42	-8	27
	女性会員数			74	75	0	1	5	4	-1	1

さきたま火祭り

東日本最大級のさきたま古墳



5月4日秩父連山が茜色に染まりさきたま古墳群が静かに暮れなずむ頃、この日だけは紅蓮の炎と松明の溶岩の中に、人々の大歓声が古墳の里全体を包みます。

さきたま火祭りとは、行田商工会議所主催の商工祭「古墳祭り」から昭和60年に地元埼玉自治会に引き継がれ、名称も「さきたま火祭り」と改名しすでに28回目を迎えます。年々有名になり観客数7～8万という人波が古墳全体を埋めつきます。

さきたま古墳群には大和の国の統一に力強く携わった人物、^{おわけのおみ}乎獲居臣の眠る稲荷山古墳を始めとし、又最近の映画「^{のぼうの城}」で有名になった忍城水攻めの際、石田三成が本陣を張った丸墓山古墳など100m級の大型古墳9基が現有し、埼玉県では昭和42年「さきたま風土記の丘」として整備を始め現在に至っています。稲荷山に眠る乎獲居臣



が8代にわたる系図と自らが時の大王^{わかたける}獲加多支鹵(雄略天皇)の親衛隊長として、大和の国の統一にむけて活躍していたことを115文字の文にして鉄剣に刻み込んだのは西暦471年の事でした。

祭りでは1500年の時空を超えて、古代のロマンを再現すべく古代衣装に身を包み、松明を掲げる200名の同朋を随えて乎獲居臣を祭りの中に登場させ、さらにその数分前、地元にある延喜式内社(武蔵の国を代表する神社)である^{さきたま}前玉

神社のご祭神である^{このはなさくやひめ}木花咲耶姫にまつわる神話を再現させる場面の産屋炎上^{うぶやひめ}が人々を感動の世界へと誘います。

古事記によれば、天照大神の孫の^{ににぎのみこと}邇邇芸命が、^{おおやまつみのかみ}大山津見神の娘木花咲耶姫と婚姻。一夜の交わりにて妊娠したことを邇邇芸命に疑われた木花咲耶姫が、疑いを晴らすため産屋に火を放って、その中で火照命(海幸彦)火遠理命(山幸彦)を無事出産したとあります。

神話の世界の神、邇邇芸命や木花咲耶姫と、古代畿内政権に深くかわり武蔵の国構築の基盤づくりに大きく貢献し、大和政権の拡大に尽力した人物、乎獲居臣らを祭りの最大の立役者に仕立て、スローガンには、「古代のロマンと神話への誘い」と謳い、見る人々に清しさと感動を与える祭りとして一見の価値ありと自信を持ってお薦めできる祭りです。

毎年5月4日 行田市・さきたま古墳で開催

表紙写真: 副幹事・斎藤 恒(行田さくら)

写真: さきたま火祭り実行委員会提供 文: 副幹事 湯本 茂作(行田)

ガバナー月信 第11号

2013年5月1日発行

今月の表紙:

地区研修委員会の面々

2012-2013年度ガバナー 鈴木 秀憲

国際ロータリー第2570地区 地区事務所

〒355-0028 埼玉県東松山市箭弓町2丁目5番14号 紫雲閣3F

TEL (0493) 21-2570

E-mail = d-office@mail.rid2570.gr.jp

FAX (0493) 21-2571

Website = http://www.rid2570.gr.jp/2012/